

学校の教育目標：「自他を大切にし、共に伸びる児童の育成 ～元気・笑顔・成長～」

相良村立相良南小学校だより

校訓「やさしく かしく たくましく」



「元気・笑顔・成長」南小

第12号 令和5年9月27日発行

発行者 校長 田口広治

児童数 173
PTA数 127

運動会よくがんばりました！

■24日（日）の運動会、大変お世話になりました。

開会式で、代表の西萌々香さんが「全力を出し切って最高の運動にすることをここに誓います」と堂々と述べたように、素晴らしい運動会となりました。

最初の種目は各学年の徒走でした。走る前には大きな返事をし、スローガンのとおり「心を燃やして 全力疾走」ができていた子供たちでした。

1年生の玉入れでは、途中のダンシングがとてもかわいらしく、何度も笑顔になりました。

6年生の親子競技では、我が子を探す姿や親子でのおんぶやだっこなど、笑いが起こる場面が何度もありました。保護者の方のパフォーマンスも◎でした。

相良音頭では、保護者や地域の方にも参加していただき、楽しい時間となりました。

そして、応援合戦。緊張感の中にも本当に素晴らしい演舞をしてくださいました。声の大きさや動きのよさ、内容の工夫もあり、赤白ともに甲乙つけがたい応援合戦でした。

リレーでは、バトンパスや受け渡し場所など、練習や工夫の様子が分かりました。

1・2年生のダンスは、花笠音頭、「ツバメ」とともに、よく頑張っていました。難しい振り付けがあるところも、上手に踊っていました。

3・4年生は、よっちょれソーラン、「いばら」とともに、速い曲に合わせた速い動きがありましたが、キレのある踊りができていました。声もよく出ていました。

5・6年生は、組体操とフラッグダンス。タワーで体を起こすところやフラッグで波をつくるころなど、いくつも見せ場がありました。最後の言葉ではジーンときてしまいました。

閉会式の終わりの言葉で原口颯真さんが述べたように「全員で作上げた最高の運動会」となりました。来賓の皆様からも「素晴らしい運動会でした」「途中で帰らず、最後まで見たくなるような運動会でした」「感動しました」との声をいただくことができました。

保護者の皆様には準備や後片付け、各係の仕事など、大変ありがとうございました。





暗唱に取り組み始めました！

■運動会でとても大きな声であいさつをしたり、代表としてしっかりと言葉を述べたりすることができていました。

ただ、本校の課題として「自分の思いを伝えることが苦手な子供が多い」ことが挙げられます。2学期は「思いを伝える」を目標の一つとしています。

そのためには、「声を出す」ことが必要です。そこで、「暗唱」を行うことにしました。

取組では、「学級テスト」を合格した上で、「校長室テスト」で合格したら、「認定証」を渡します。全員が合格できるように頑張ってもらっています。

最初の教材は「いろは歌」です。テストは失敗しても何度も挑戦していいことにしています。つまり「挑戦する力」もつけることになります。

ぜひ力を高めて、「思いを伝える」ことができるようになってほしいと思います。

運動会での頑張りを、次の活動や成長につなげられるようにしていきます。

肥後木材様より跳び箱寄贈

■9月21日(木)に肥後木材株式会社様より、5年生に対して、跳び箱の贈呈と木育の話をしていただきました。跳び箱は8段の立派なもので、一部をひっくり返して使うと、非常時のベビーベッドになります。

木育の話は、クイズ形式で進められました。

「木を切ることは、環境に悪いのか？」

→新しい樹木を植えて、二酸化炭素をたくさん吸ってくれるから環境にいいとの話がありました。

「ひのきの生産は、熊本県は全国何位か？」

→熊本県のひのき生産は1位！杉も第4位。木材生産上位県です。子供たちはとても驚いていました。

話の後には、子供たちから質問がたくさん出ました。

「1日に何本くらい木を切るのですか」「木の寿命は？」「木の高さは？」「木の種類は？」などなど。

身近にある木ですが、とても関心を持っていました。

跳び箱は大切に使っていきたいと思います。



←相良南小学校HP
ぜひご覧ください。